

10日 水曜

ヨブ記



- 21:17 幾たび、悪者のともしびが消え、
わざわいが彼らの上を下り、
神が怒って彼らに
滅びを分け与えることか。
- 21:18 彼らは、
風の前のわらのようではないか。
つむじ風に吹き去られる
もみがらのようではないか。
- 21:19 神はそのような者の子らのために、
彼のわざわいをたくわえておられるのか。
彼自身が報いを受けて
思い知らなければならぬ。
- 21:20 彼の目が自分の滅びを見、
彼が全能者の憤りを
のまなければならぬ。
- 21:21 彼の日の数が短く
定められているのに、
自分の後の家のことに
何の望みがあるうか。
- 21:22 彼は神に知識を教えようとするのか。
高い所におられる方がさばきを下すのだ。
- 21:23 ある者は元気盛りの時に、
全く平穩のうちに死ぬだろう。
- 21:24 彼のからだは脂肪で満ち、
その骨の髄は潤っている。
- 21:25 ある者は苦悩のうちに死に、
何の幸いも味わうことがない。
- 21:26 彼らは共にちりに伏し、
うじが彼らをおおう。
- 21:27 ああ、私はあなたがたの
計画を知っている。
私をそこなおうとするたくらみを。

- 21:28 あなたがたは言う。
「権門の家はどこにあるか。
悪者の住んだ天幕はどこにあるか。」
と。
- 21:29 あなたがたは道行く人に
尋ねなかったか。
彼らのあかしをよく調べないのか。
- 21:30 「悪人はわざわいの日を免れ、
激しい怒りの日から連れ出される。」
という。
- 21:31 だれが彼に面と向かって
彼の道を告げようか。
だれが彼のなしたことを
彼に報いようか。
- 21:32 彼は墓に運ばれ、
その塚の上には見張りが立つ。
- 21:33 谷の土くれは彼に快く、
すべての人が彼のあとについて行く。
彼より先に行った者も数えきれない。
- 21:34 どうしてあなたがたは、
私を慰めようとするのか。
むだなことだ。
あなたがたの答えることは、
ただ不信実だ。

前後の内容から考えると、「幾たび... 滅びを分け与えることか」というのは、その頻度や割合に疑問を感じているということです。”神は悪い者をさばく（彼が全能者の憤りをのまなければならぬ）はずだが、必ずそうされるとは限らない。なぜか。そしてどの程度なのか。”という疑問です。

Ⅱペテロには「忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられる」とあります。愛の主は忍耐とともに（私たちにそうであったように）1人1人を扱っておられるのです。

ヨブの友人たちのような批判に悩むよりも、「まず神の国とその義を求め」ましょう。「そうすれば…すべて与えられる」という約束があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

